

スポーツコース2,3年生が、地域貢献として実施した、小学生のスポーツテストの補助を行いました。

新

聞

2018年(平成30年) 5月16日(水曜日) (2)

町内4校で 体力テスト補助



国見高(後藤慶太校長)の2,3年生が国見町内の全4小学校でサポート実習に取り組んでいる。小学校

地域貢献力を育成へ

に出向いて児童の新体力テストの測定と補助を行い、地域社会への貢献力を養っている。

国見高生が小学生をサポート

地域の小学生と交流を図りながらスポーツに関わるさまざまな実践力を育成し、地域社会に貢献できる生徒を養おうと、昨年度1校から始め、本年度は多比良小や神代小など全4校に拡大して取り組んだ。体育コースの2,3年生計57人が参加し、先月24日からきょう16日まで4日間実施する。

15日は八斗木、土黒両小で実施。午前中に行われた八斗木小では全児童60人が参加し、ソフトボール投げ、反復横跳び、上体起こしなど6項目の測定・補助を行った。うち50分走では生徒らがお手本を見せて一緒に走ったり、スタートの合図やタイム測定を行い、立ち幅跳びでは跳ぶタイミングを教えたりした。写真。

国見高2年の吉田悠馬君(16)は「幼い子どもと接するのは難しかったが、視線を合わせて教えたり、動きを見せて分かりやすく伝えたりするよう工夫した」と話した。